

桜の季節がやってきた

桜の季節を盛り上げようと4月はさまざまなイベント等も開催され、町内は多くの人でにぎわいました。



【4月19日～5月6日】 あゆーむにおいて、「白鷹の桜を愛する会」主催の「第3回しらたか古典桜in あゆーむ展」が開催されました。町内の桜の古木の保存活動がパネルで紹介されたほか、古典桜に関する絵画や手芸作品などの公募作品が展示されました。また、全国の蔵元から集めた桜の名前のお酒展が展示され、試飲会等のイベントも開催されました。



【4月16日】 日本郵便(株)荒砥郵便局(佐藤敏幸局長)より、オリジナルフレーム切手「置賜さくら回廊2014」をいただきました。



【4月15日】 釜の越農村公園での置賜さくら回廊のオープニングセレモニーには花咲かじいさんが登場し会場を盛り上げました。



【4月23・24日】 横浜市青葉区の「桜を愛する会」が来町。「山形しらたか古典桜めぐりの旅」として町内の古典桜をめぐる予定です。



【4月20日】 開花が間近の釜の越農村公園の特設ステージで高玉芝居が上演され、多くの観客が芝居を楽しみました。



【4月27日】 水仙も鮮やかに咲いた鮎貝駅前公民館周辺では、サークル水仙のみなさんによる「水仙まつり」が開催されました。



【4月27日】 スポーツ公園内の桜も満開となり、八幡若衆会により「さくらまつり」が開催され、多くの人でにぎわいました。



さくらまつり期間中は遠方からもたくさんの方が訪れ、会場では「しらたか旅先案内人」が町の歴史や文化等を案内してくれました。



【4月29日】 古典桜展のイベント「桜マーケット」。町内外の作家さんの陶芸品や手づくりお菓子などがたくさん並びました。